

- 問1 九州地方の北西部に位置するある県は、東側を福岡県、西側を長崎県に挟まれており、北側は対馬海流が流れる玄界灘、南側は日本最大の干満差で知られる有明海という、特徴の異なる二つの海に面しています。この条件に当てはまる県はどこですか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
1. 佐賀県 2. 長崎県 3. 大分県 4. 熊本県
- 問2 鹿児島県の桜島周辺における降灰被害について、冬の2月には降灰が主に火口の南東方向（海側）へ広がるのに対し、夏の8月には火口の北西方向（鹿児島市街地側）へと広がることが統計的に示されています。このように、時期によって降灰の範囲が変化する要因として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 夏は気温が高いため、噴煙が上昇気流に乗って拡散されなくなるため 2. 周辺を流れる日本海流（黒潮）が、季節によって流路を大きく変えるため 3. 季節風の影響により、季節ごとに卓越する風の向きが変化するため 4. 日本付近の上空を流れる偏西風が、季節によって完全に消滅するため
- 問3 1月の気温が15度を超え、梅雨や台風の影響を受ける7月・8月に降水量のピークがある気候統計を示し、年間の降水量が2100mmを超える沖縄県の都市について、その都市名と行政上の役割の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. 那覇市 ― 九州地方全域を統括する政令指定都市 2. 沖縄市 ― 沖縄県の県庁所在地 3. 名護市 ― 沖縄本島南部を管轄する行政の中心地 4. 那覇市 ― 沖縄県の県庁所在地
- 問4 鹿児島県に広く分布する「シラス台地」の土壌の性質として、現地の農業に最も大きな影響を与えている特徴はどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. サンゴ礁が隆起してできたため、アルカリ性が非常に強い 2. 川が運んだ土砂でできており、水を通にくい 3. 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい 4. 粘土質で栄養分が豊富であり、稲作に非常に適している
- 問5 九州地方の種子島において、宇宙センターの建設やサトウキビの生産といった産業が発達した要因となる、この島の地形的・気候的な背景として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 標高の高い険しい山岳地帯が島の中央にそびえ、宇宙観測に適した気流の安定した環境があったため。 2. 島全体に平坦な丘陵が広がっており、大規模な施設の建設や農地の確保が比較的容易であったため。 3. リアス海岸が発達しており、大型船によるロケット機材の搬入や、寒冷な気候を活かした漁業が盛んであったため。 4. 銘柄米の生産に適した広大な平野と、一年を通じて冷涼な気候が維持されていたため。
- 問6 沖縄県における河川の状況と水資源に関する記述として、統計的な事実や地理的特徴に基づいた正しいものを選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 大規模な平野部を流れる長大な河川が多く、古くから水田稲作が盛んに行われてきた。 2. 降水量が極めて少ない地域であるため、河川の流量が年間を通じて一定ではない。 3. 全国平均と比べて河川の長さが極めて短く、雨水を安定して蓄えることが難しい地形である。 4. 河川が非常に緩やかに流れているため、海への流出に時間がかかり蒸発による損失が激しい。
- 問7 鹿児島県の養豚業における統計的な特徴について説明します。1964年には約5万戸あった飼育戸数が、2014年には約1千戸まで激減している一方で、県全体の総飼育頭数は約100万頭から140万頭の間で維持、あるいは微増しています。このデータから読み取れる、現在の鹿児島県の養豚業の状況として正しいものを選びなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 飼育戸数と総飼育頭数の両方が減少したことで、豚肉の希少価値が向上している状況 2. 小規模な農家が多数残っており、伝統的な飼育方法が守られている状況。 3. 養豚農家の減少に伴い、県全体の豚肉生産能力が著しく衰退している状況。 4. 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。
- 問8 九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 親潮（千島海流） 2. 対馬海流 3. 黒潮（日本海流） 4. リマン海流
- 問9 九州地方の各県を比較した統計において、温泉の源泉数は184と比較的少ないものの、小麦の収穫量が51,800トンに達し、全国でも有数の生産量を誇っている県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 大分県 2. 愛知県 3. 沖縄県 4. 佐賀県
- 問10 北海道の洞爺湖の近くにある有珠山は、たびたび噴火を繰り返す活火山ですが、周辺地域では火山と共生したまちづくりが行われています。火山が地域にもたらすマイナスの影響とプラスの影響を考慮したとき、適切な説明はどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている 2. 噴火によって流出した溶岩が平坦な土地を作るため工場誘致に有利だが、火山ガスの影響で精密機械の製造が困難である 3. 火山活動によって土地が肥沃になり稲作が飛躍的に発展したが、地熱によって周辺の気温が上がりすぎる弊害がある 4. 火山灰が降り積もることで大規模な森林が形成され林業が盛んになるが、山火事が発生しやすいリスクがある
- 問11 九州地方の周辺を流れる海流が、地域の生活や気候に与える影響について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 太平洋側を流れる親潮の影響で霧が発生しやすくなり、夏でも気温があまり上がらない冷涼な気候となる。 2. 北からのリマン海流が九州の日本海側に冷たい水を運ぶため、冬の九州北部は北海道と同じくらい寒冷になる。 3. 日本海を南下する対馬海流が、九州地方に乾燥した冷たい空気を運んでくるため、冬は降水量が非常に少なくなる。 4. 赤道付近から北上してくる黒潮や対馬海流が暖かい空気を供給するため、冬でも比較的温暖な気候となる。
- 問12 鹿児島県の農業の特色について、農業産出額の構成や主な生産物の背景を踏まえて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 広大な平地と冷涼な気候を活かした大規模農業が盛んで、乳牛などの酪農やてんさい、じゃがいもの生産が中心である。 2. シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。 3. 首都圏に近い立地を活かした近郊農業が発達しており、レタスやピーマンなどの野菜の生産額が畜産を大きく上回っている。 4. 温暖な気候を利用した稲の二期作が古くから行われており、農業産出額における米の割合が最も高い。